

ナルニア国物語

魔術師のおい

17

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

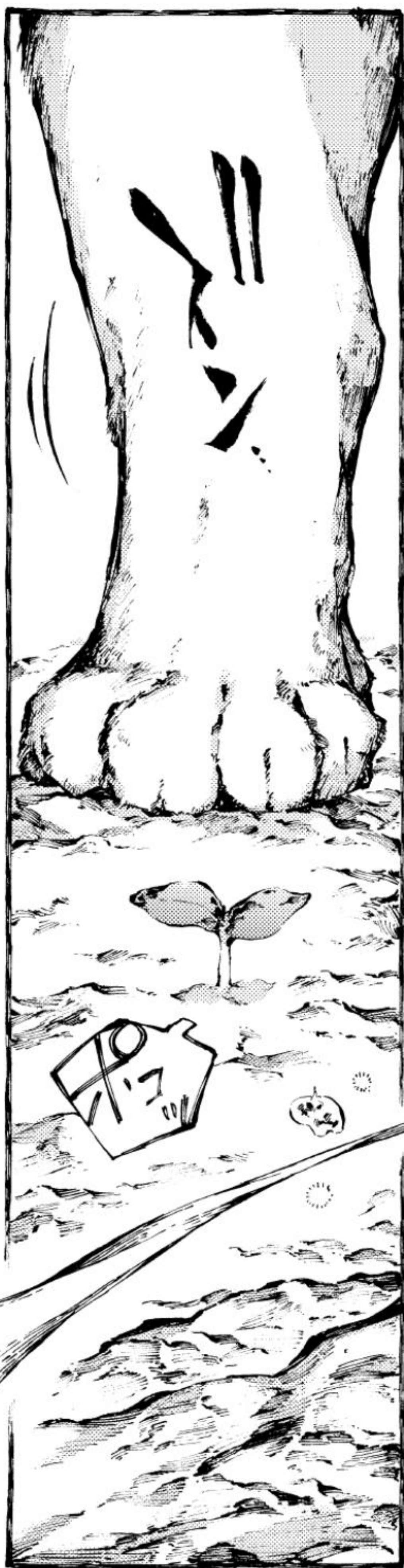
第17話 ナルニア創世(前編)

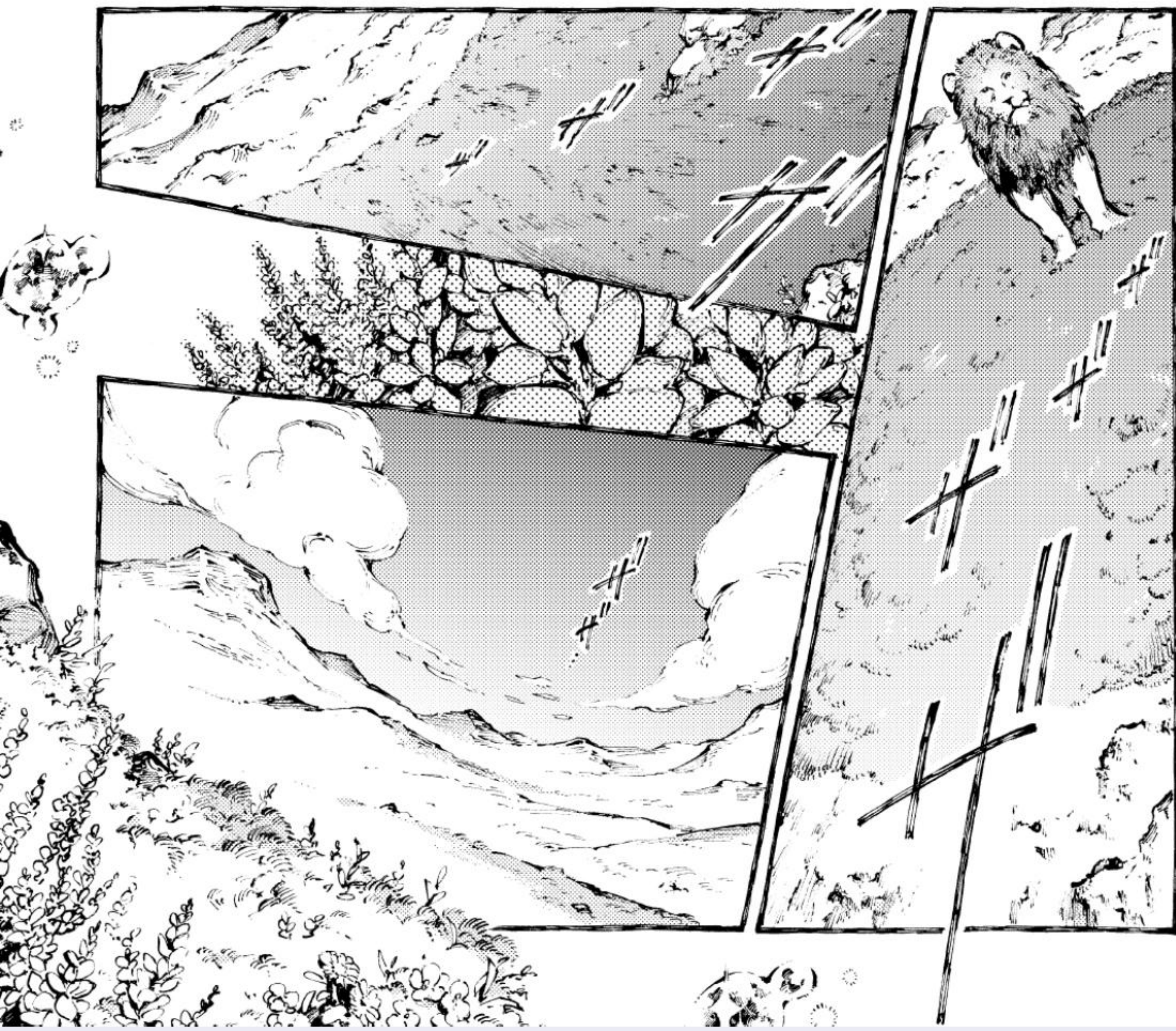
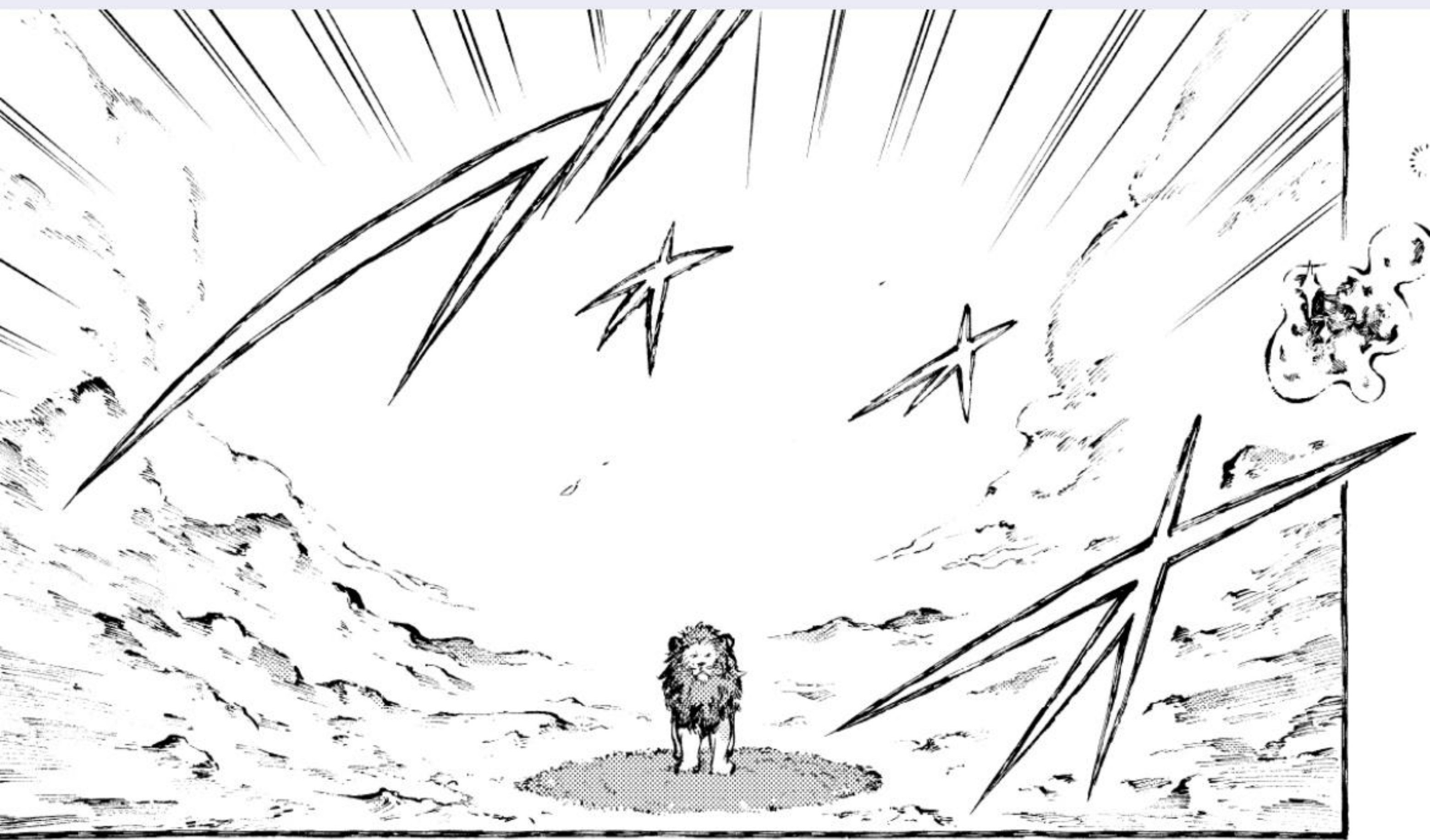


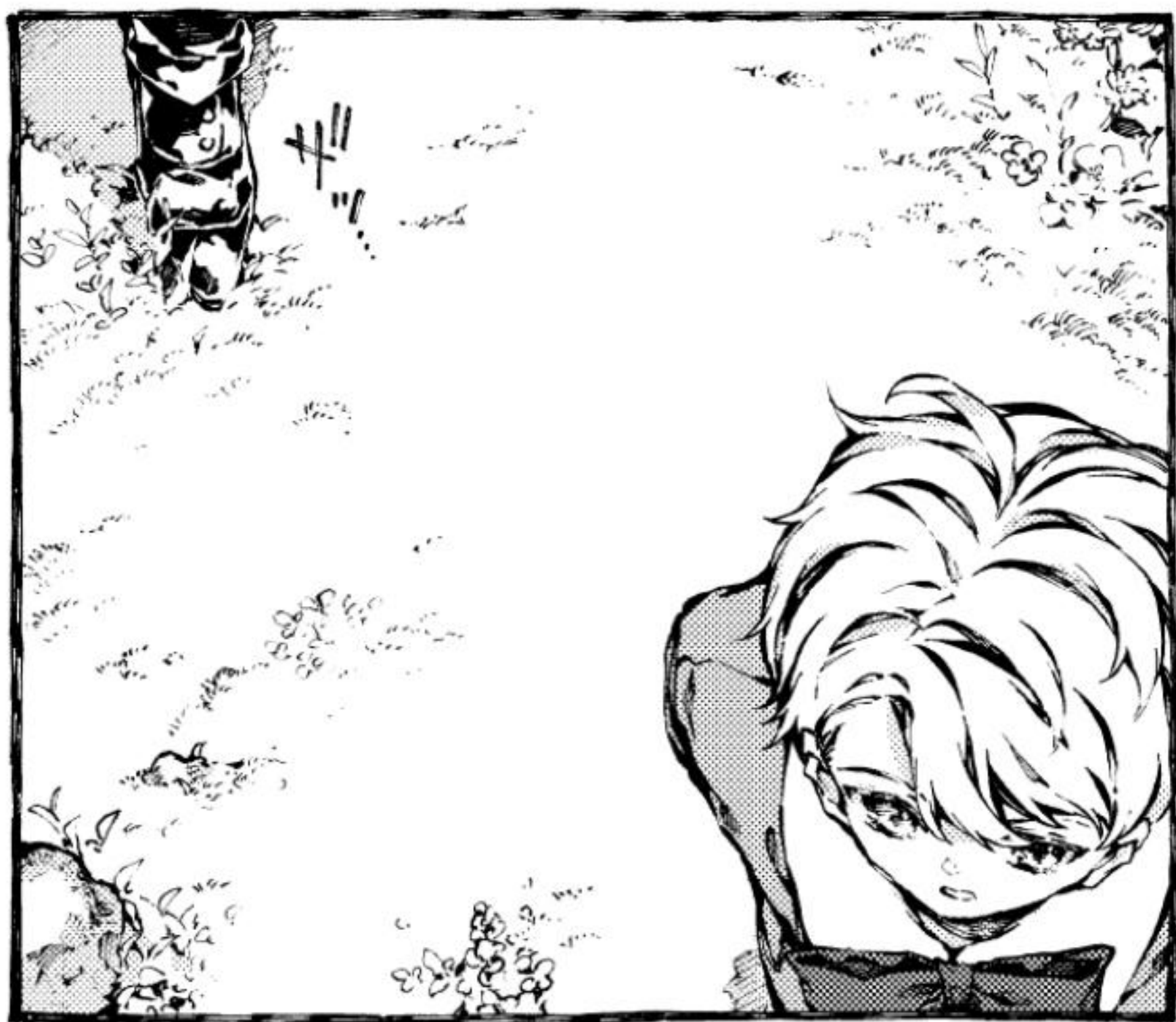




——さっきまでとは
ちがう歌？









木だ！





下
が
れ



も
っ
と
下
が
れ

だ
め
だ



誰
で
あ
ろ
う
が

その小童^{こわらば}どもから
一〇歩以内に
近づいたやつは

脳天を
たたき割ってやる



おまえは
その小童といっしょに
こっそり
自分の世界にもどって

なるほどな！



わらわをこの世界に
置き去りにする
つもりだったのだな



…そうですとも

マダム



もちろん
そうですとも

当然ですよ

わたしはきわめて
不名誉かつ
不愉快なる扱いを
こうむったのですから

わが力の
およぶかぎり

丁重におもてなし
しようとしたにも
かわらず

それに対して
あなたは何を
なさったか

あなたは
高級宝石店にて
強盗をはたらいた

いいですか

もういちど
申します

——あなたは
強盗をはたらいた
のです

そして

とほうもなく
高価にして
豪勢なる昼食を
食べさせると
要求し

おかげでわたしは
金鎖つきの時計を
質に入れるはめに
なった：



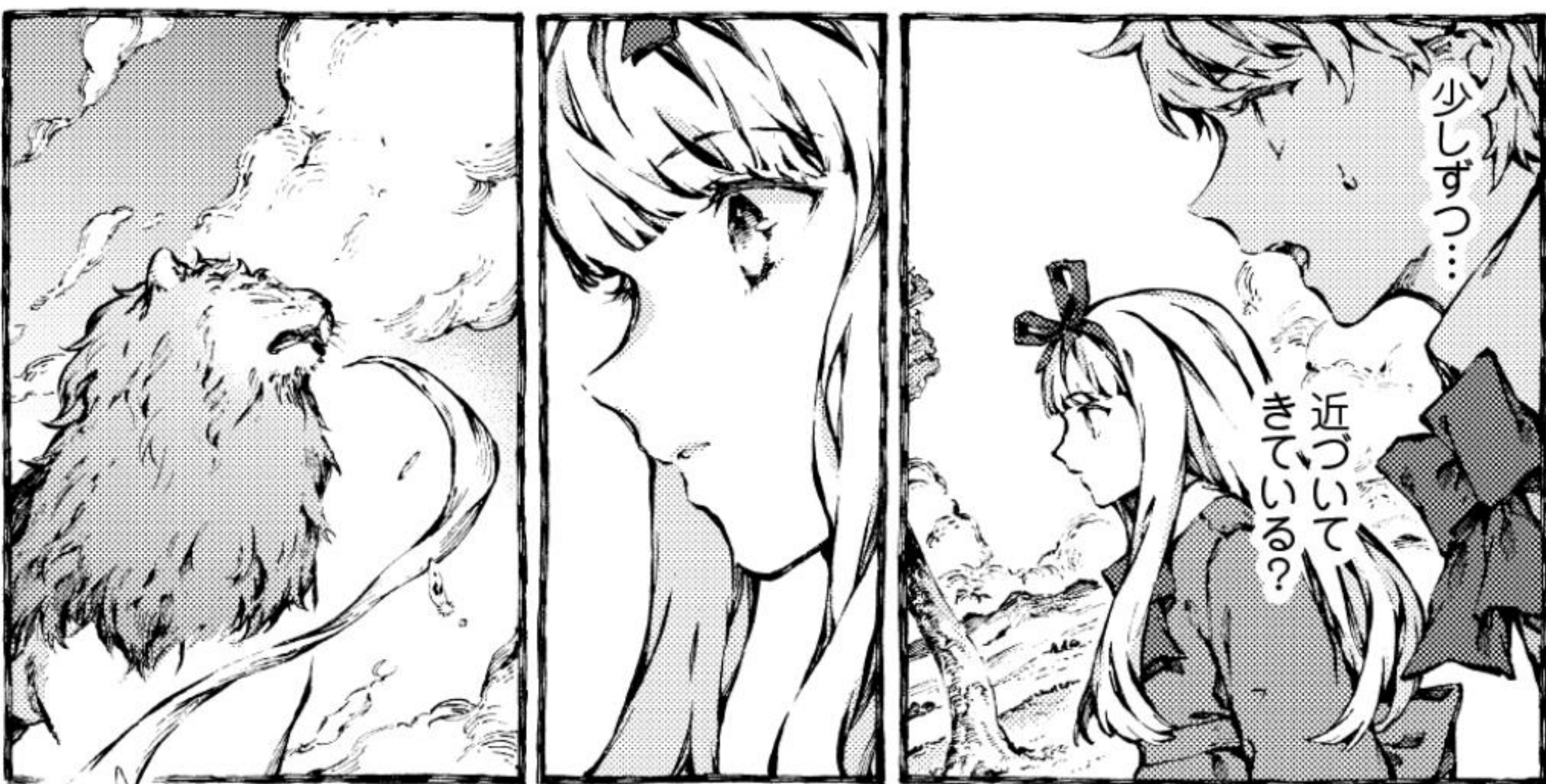
いまは
見ること
聞くこと
です

しゃべるときじゃ
ありません





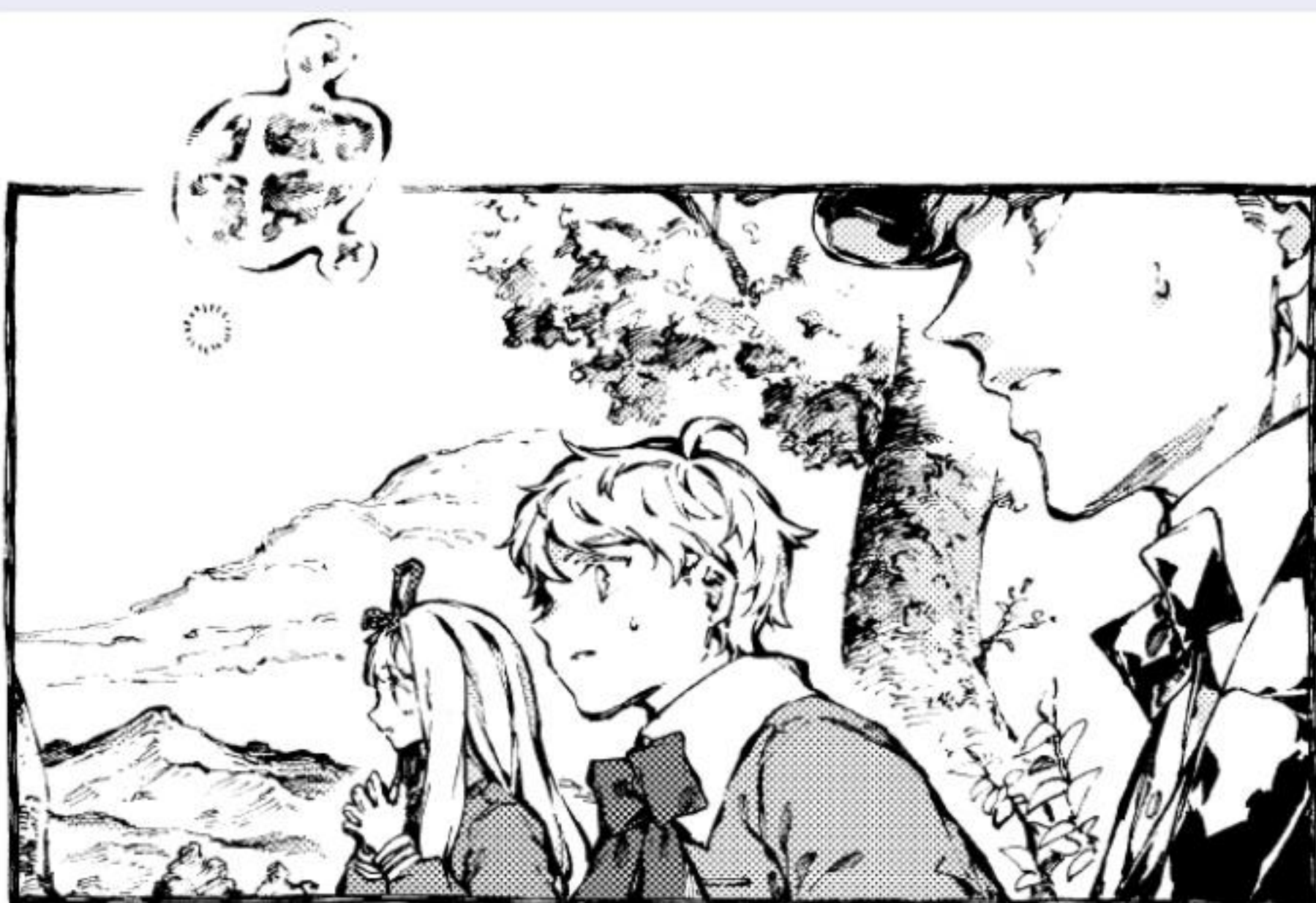




すべての
ものは

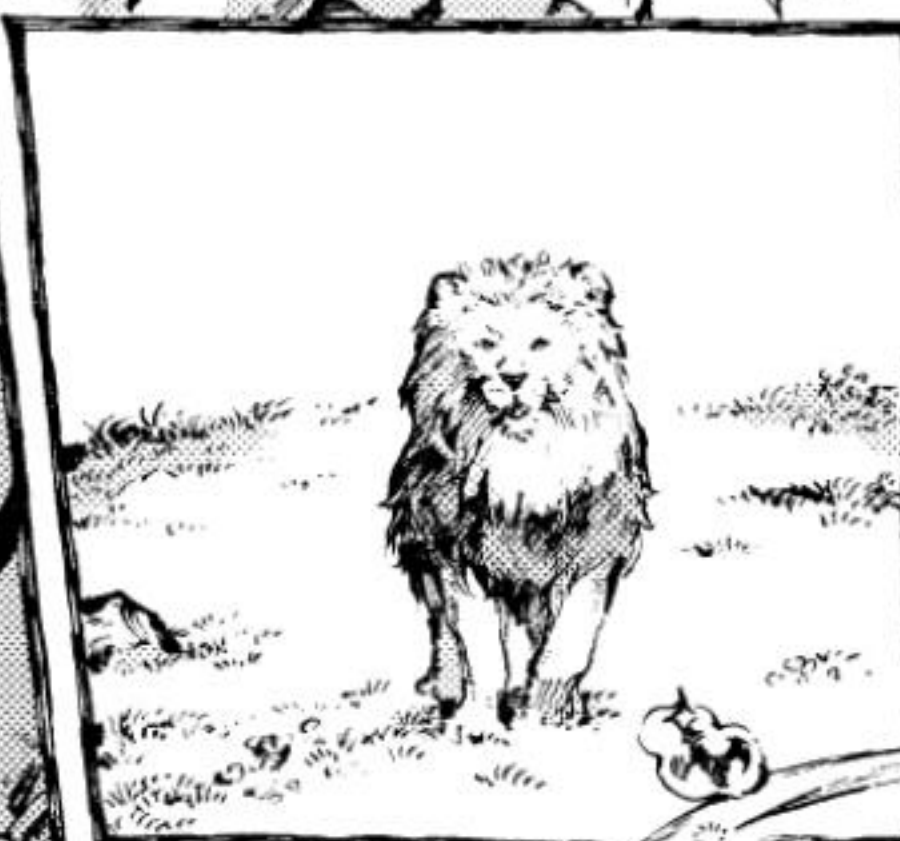
ライオンの
頭の中から
生まれてくるに
ちがいないわ！





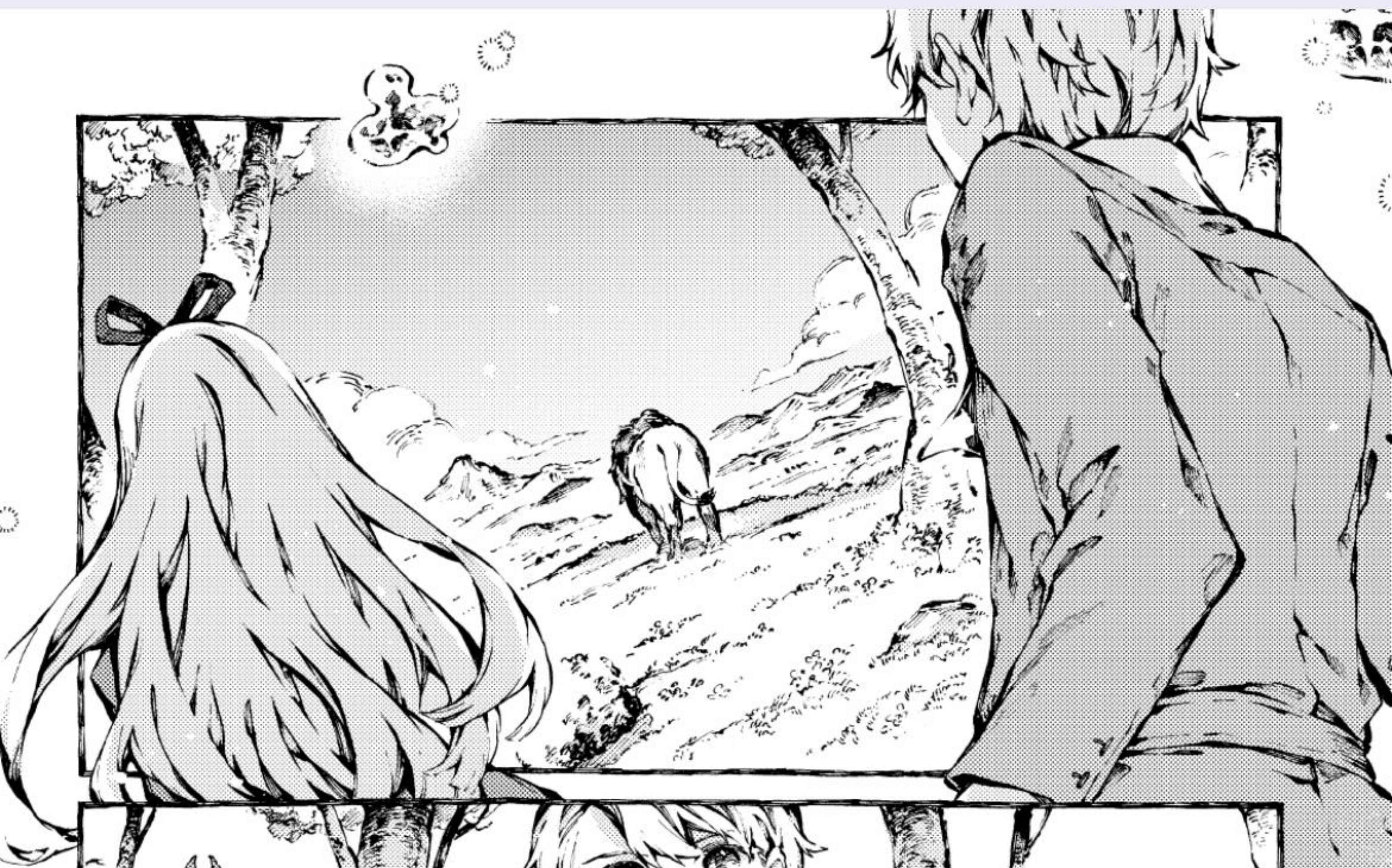












あの女も
いなくなったし

ライオンめも
行ってしまった

ポリー

あいつから
離れてろ

わたしと
手をつないで

すぐに指輪を
はめなさい

ぼくのそばへ
おいで

近寄るな

アンドリユー
伯父さん

警告
しておく

一歩でも
近づいたら
ぼくたち
消えるからね

いますぐ
言われたとおりに
しないか

おまえは
とんでもなく反抗的で
しつけの悪い子どもだ

まっぴらだね



ぼくたちは
ここにいて

これから
何が起こるか
見たいんだ

わたしの
このありさまを
見るがいい

いちばん
上等な上着と
いちばん上等な
ベストだったのに

ここが
つまらん場所だとは
言わん

わたしが
もう少し
若ければ...

——いや
先に若い者を
来させれば
よかったんだな
猛獣狩りの
うまい
やつを——

おじさんも
ほかの世界を
知りたがって
いたんだと
思ったけど？

いま現実

そういう世界に
やってきて
うれしいと
思わないの？

うれしい
だ!!

この国も
使い道が
ないわけでは
あるまい

気候は
まことに
けっこう

こんなに
いい空気は
はじめてだ

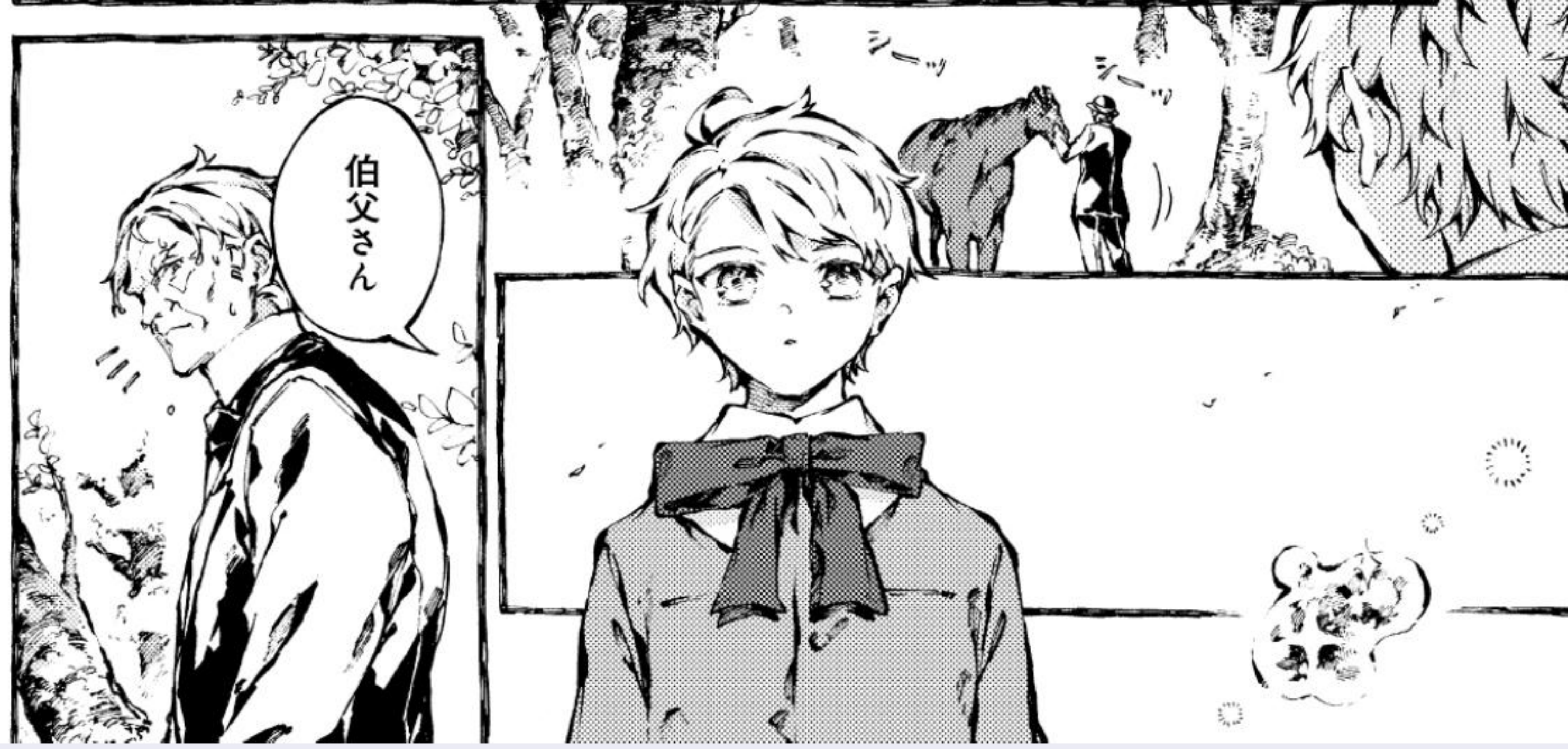
状況さえ
もう少し
良ければ

やりようも
あった
だろうが…

…ああ

鉄砲さえ
あればなあ

鉄砲なんて
冗談じゃない





とんでもないと
思うわ

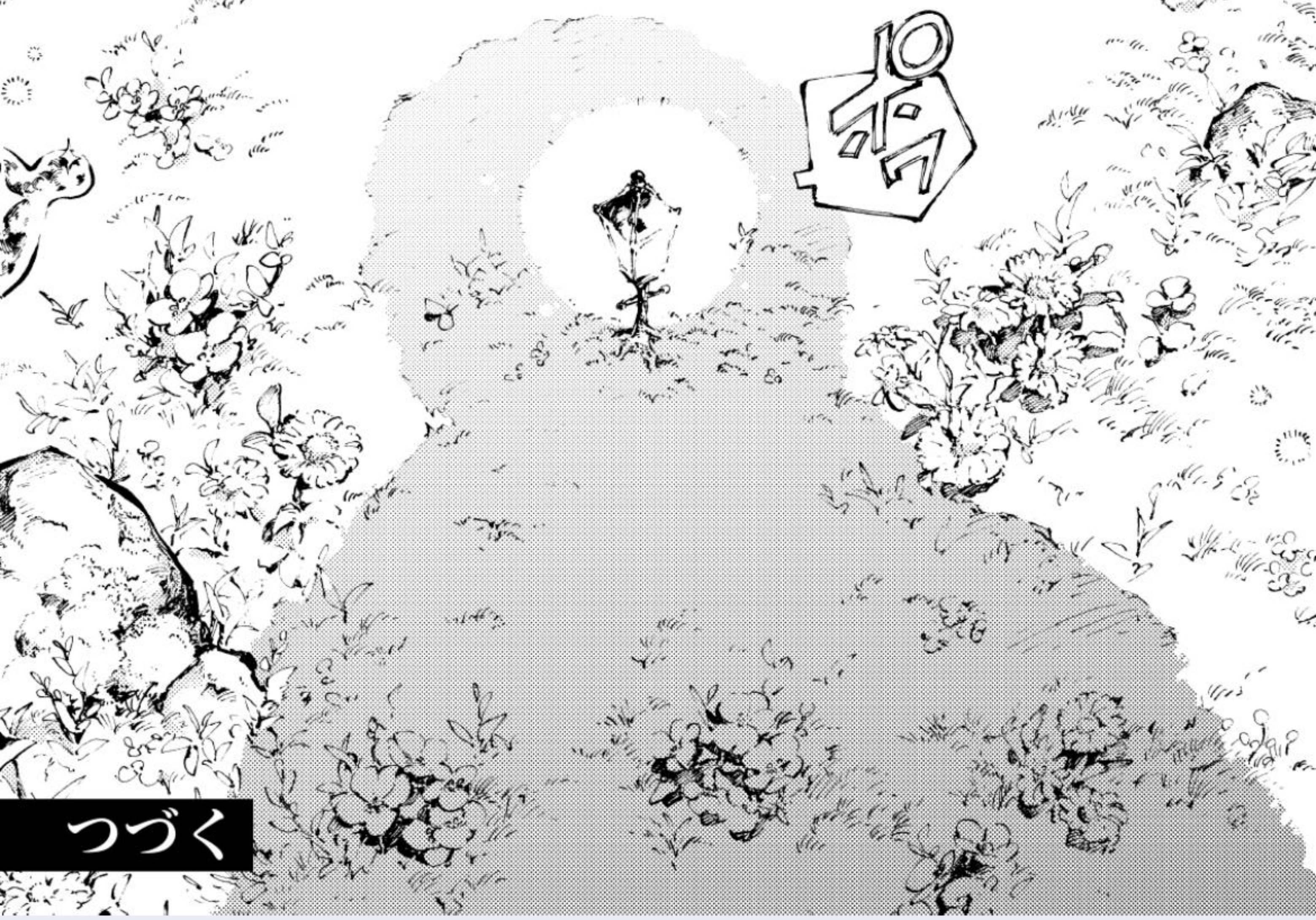
あのライオンが
魔女に何をした
というの？

何が
けっこうな
ものですか

あれ！

ありや何だ？





つづく